



学びの庭

学校教育目標

自ら学ぶ生徒 人を尊ぶ生徒 自ら鍛える生徒

読書の力を味わう ～読書の秋に寄せて～

与えられた時間は全員同じです。それをいかに上手に使うかはあなた次第です。それは、「読書の力を味わってください」ということです。今年は、担当の先生のおかげで、たまよど号が、町内で初めて中学校に来校しました。また、朝読書の時間で電子図書も利用できるようになりました。寄居中学校は、読書活動も推進しています。

では皆さんは、普段、朝読書の時間以外でどのくらい読書をしていますか？読書が日本という国の発展につながる偉大な力があることを知っていますか？

現代は、スマートフォンで世界中の情報に瞬時にアクセスできる時代です。便利で楽しいツールであることは間違いありません。しかし、その手軽さゆえに、私たちは、時に深く考えることを忘れ、表面的な情報に流されてしまうことがあります。

一方で本を開くということは、著者が何年、何十年とかけて培った知識や経験、そして魂を込めて紡ぎ出した言葉とじっくりと向き合う時間をもつということです。それはまるで、遠い異文化を旅するような、まだ見ぬ時代にタイムスリップするような、あるいは偉大な先人たちの隣に座って、その息づかいを肌で感じるような、五感を刺激するような深い味わいのある体験です。

国民の読書量は、国の力に反映すると言われています。戦国時代の織田信長、豊臣秀吉、徳川家康と優秀な武将の中で、庶民に教育を与え、導いていくことを思いついたのは、徳川家康だけでした。家康は、印刷・出版の事業を起こし、読書を推奨したと記録にあるそうです。徳川の時代が260年という長きにわたって続いたことにより、読書の偉大な力が伝わるのではないかと思います。明治時代、日本は欧米の植民地になることなく、明治維新から約20年後には大国の清（現在の中国）と戦争して勝つくらいの国際的な地位を占めました。それを可能にしたのは、当時日本に来ていた外国人が驚いたほどの識字率の高さなのです。識字率とは、文字の読み書きができる人の割合です。江戸時代後期には、至る所に貸本屋があって庶民の識字率は80%以上もあったと言われています。当時イギリスのロンドンの識字率は20%に満たず、フランスは10%だったことを考えると日本が格段に高いことがわかんと思います。識字率が高いということは、情報が隅々まで行き渡り、みんなで共有できること、お互いに負けないように学び合って、切磋琢磨する雰囲気も作り出されることを意味します。昭和時代では太平洋戦争に突入し、日本全国が廃墟となりました。戦後、日本に来た外国人は、この国は絶対に発展すると驚いたそうです。なぜかという、大人たちは寝食を忘れて働き、子供たちは元氣よく目を輝かせていて、電車の中では、皆、本や新聞を読んでいる、こんな国は他にないからです。日本の誇りでした。今までの日本の近代化や高度経済成長は、国民の読書量に深く関係していることを、歴史が証明しています。

読書は、皆さんの「自分だけの未来」を創造する上で、最高のツールになります。大部分の人が、これから様々な選択を迫られる場面がやってきます。勉強と部活との両立、卒業後の進路など、答えは1つではありません。その答えを自分以外の人が教えることでなく、全て自己選択、自己決定です。

本の中には、まだ出会ったことのない「問い」に対する「ヒント」が隠されています。歴史上の人物の生き方や科学の最先端の知識、小説の中の登場人物の葛藤、哲学者の思想など、本は視野を広げ、思考を深め、そして「考える力」と「感じる心」を与えてくれます。これが皆さんの未来を切り拓くためのかけがえのない力となるのです。

読書の力の大きさが伝わったでしょうか？

明治時代にベストセラーになった「学問のすゝめ」を紹介します。「学問のすゝめ」は、著者である福沢諭吉が、西洋の学問をこれからどのように取り入れていかなくてはならないかについて書いた書物です。有名な一節「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言えり」とあります。この後に、「されど今広くこの人間世界を見渡すに、かしこき人あり、おろかなる人あり、貧しきもあり、富めるもあり」と、この世の中には、身分の違いや貧富の差があると続いています。その理由をこう書かれています。「されば賢人と愚人とを別は 学ぶと学ばざるとに由（より）てできるものなり」つまり、平安時代から継承されている「学ぶことの大切さ」が述べられています。

ぜひ一冊でも多くの本を手に取り、その奥深く潜んでいる「読書の力」を存分に味わってください。それが皆さんの未来をより豊かに、より明るくしていくと信じています。

（この内容は1学期終業式 式辞の一部を改変・再編集しています。）

2学期の一斉総合

寄居町の3中学校では2学期「**寄居ふるさと探究学**」と銘打って、我が町寄居に関する様々な分野について探究学習を行っています。寄居中学校では以下の11の講座を設けています。10月10日(金)には**【探究ハイク】**として、講座ごとに寄居町内の現地調査も行います。12月には寄居町長のご臨席のもと「生徒が作りたい寄居のまち」と題して提言を行う予定です。(3中学校合同・会場：寄居中学校)郷土寄居を良く知り、充実した研究活動を行っています。

【今年度開設している講座】

1	安全防災～寄居町を災害から守る～	7	寄居町の自然
2	寄居町の空き家の活用方法	8	寄居町民を守ろう！ Season2
3	目指せ、観光PR大使！in Yorii	9	寄居町の伝統文化の伝承
4	寄居町にいる外来生物は？	10	海外出身者から見た寄居町
5	男女共同参画できる寄居町	11	寄居町の地理・歴史～民話とラベンダーの活用～
6	寄居町の再開発		

寄居町立図書館との共同企画

寄居中学校では生徒の学力向上や情操の涵養のために、読書活動に積極的に取り組んでいます。毎朝の朝読書では、紙媒体図書はもちろんのこと、町立図書館の電子図書館に登録をして、全校生徒が閲覧できるようにしています。

また、今年度は夏休み前に、中学校に移動図書館「たまよど号」に来ていただき、図書委員が貸出業務を行い、多くの生徒が利用しました。9月には町立図書館の職員様4名に御来校頂き、図書委員を対象とした実践講座「ブックカバーの装丁」を行いました。



9月6日(土) 資源回収 御協力ありがとうございました

第1回資源回収におきましては、寄居中学校区にお住まいの皆さまに、多大な御協力を頂きました。本当にありがとうございました。収益につきましては、別途お知らせいたします。本校の学校教育・学習環境の充実のために、大切に使用させていただきます。第2回を12月6日(土)に予定しておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

正門西側樹木伐採のお知らせ

本校では、3学期に正門西側樹木の伐採を計画しております。長年の経過により、繁茂が激しく管理に困難を来しているためです。本校卒業生の皆さまで当時の植樹や記念樹の情報をお持ちの方は、中学校までお知らせ下さい。

9月下旬に行われました新人スポーツ大会地区

予選会ではたくさんの応援ありがとうございました。結果は別途お伝えします。

10月の予定

日	曜日	行 事
1	水	部活中止 駅伝前健康診断 集会所学習
2	木	部活中止 生徒会選挙 集会所学習
3	金	部活中止 後期教育実習開始(3週間) 第2回3年実力テスト 更生保護女性会 あいさつ運動 集会所学習
4	土	部活中止 新人代表決定戦 より・E土曜塾
5	日	新人代表決定戦
6	月	部活中止 中間テスト 学年会議
7	火	部活中止 中間テスト
8	水	3年進路説明会 英語弁論県大会
9	木	生徒会の日(前期最終)
10	金	探究ハイク(午後)
11	土	桜沢小運動会
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	新生徒会任命式
15	水	駅伝地区予選
16	木	校内音楽会前日準備
17	金	校内音楽会
18	土	寄居小運動会 より・E土曜塾
19	日	
20	月	安全点検日
21	火	性に関する講演会(2年) 3校合同あいさつ運動・花植え運動 (寄居中会場)
22	水	
23	木	生徒会の日(後期最初)
24	金	漢字検定
25	土	より・E土曜塾
26	日	
27	月	校内研修
28	火	3者面談① フリー参観
29	水	3者面談② フリー参観 町内音楽会
30	木	3者面談③ フリー参観 全校朝会
31	金	3者面談④ フリー参観
行 事(11月)		
1	土	彩の国教育の日 より・E土曜塾
2	日	
3	月	文化の日
4	火	第3回3年実力テスト
5	水	3者面談⑤ フリー参観 赤ちゃんとの交流(3年)
6	木	3者面談 フリー参観
7	金	深谷市・寄居町一斉授業研究会 (特別日課 給食なし) 食育の日 更生保護女性会あいさつ運動
8	土	より・E土曜塾
9	日	
10	月	職員会議(11月)

上記の予定は変更する場合があります。

